

平成30年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	森林組合経営再建緊急支援事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者			
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	山口	浩孝	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	森林・林業基本計画				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被災した森林組合等において、経営再建又は経営維持安定のために民間金融機関から借入れた資金に対する利子助成を実施し、被災森林組合等の早期復興を図り、復興材をはじめとする国産材の安定供給、地域経済の復興に資することを目的とする。 被災森林組合から経営再建等のために早期復興を図りたいというニーズがあり継続して実施している。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①被災森林組合等の新たな事務所を建設するまでの仮事務所の賃借、新たな事業地の購入・賃借、新たな事務所の建設等のために借入れた資金に対する利子助成 ②震災の影響による経営環境の変化により、一時的に経営不振に陥った森林組合等の経営の維持・安定のために借入れた資金に対する利子助成 補助率:定額(①②は最長5年、最大2%まで助成。今年度は後年度負担のみ。)								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	-	▲3.2	▲0.3	-			
		前年度から繰越し	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
		計	34	1.8	0.3	0	0		
	執行額	16	1.4	0.3					
	執行率(%)	47%	78%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	47%	78%	100%					
平成30・31年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
				平成29年度で事業終了					
	計	-	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	利子助成事業:本事業において対象とする災害復旧等に必要資金の計画額(22.5億円)を目安として、融通の円滑化を目指す。	借入額総額	成果実績	億円	6.1	6.2	6.2	-	-
			目標値	億円	22.5	22.5	22.5	-	22.5
			達成度	%	27.1	27.6	27.6	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	平成20年度森林組合統計								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込		
		活動実績	当初見込み								
単位当たりコスト		算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込			
		利子助成事業費／融資件数		単位当たりコスト		0.8	0.1	0.2	-		
				計算式	/	4.1/5	0.6/5	0.3/2	-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	4. 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の継続的かつ健全な発展									
	施策	(2) 林業の持続的かつ健全な発展									
	測定指標	定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	本事業により被災森林組合等が確実に再建されており、地域の林業の健全な発展に寄与している										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、被災地域の森林・林業の早期復興に向けて森林組合等の迅速な再建を支援することは、国民や社会のニーズに的確に応えるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	被災地域が広域なことや後年度負担のみであるため、引き続き国が主導して取り組む必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被災地域の森林・林業の復興を図るためには、被災した森林組合への支援を行うことが必要不可欠であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	東日本大震災の被災森林組合等に対し迅速かつ円滑な支援を実施するため、これまでも森林組合等に対する支援を実施している全国森林組合連合会を交付先としたものである。本事業は、被災した森林組合に対し最大5年間利子助成を行う事業であることから、森林組合の経営に係る知見を有し、森林組合の全国組織として、各地域における被災者支援を緊急、適切に実施できる組織体制を有している全国森林組合連合会を事業実施主体とした。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は借り入れた資金に対する利子に対し、最長5年、最大2%までの利子助成を実施しており妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	利子助成事業は、単位あたりのコストはほぼ変動がなく妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	中間段階はなく、全国森林組合連合会へ直接支出しているため、合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	被災した森林組合等への利子助成に対して真に必要なものとなっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標は、融資をしていない被災森林組合も入っているため、低い実績になっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	効率的かつ適切に実施するため、森林組合に対して知見を持った意欲のある民間団体を事業主体としている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	予定通り、新規融資2件しており、見込みに合ったものになっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	本事業は、利子助成であり、施設整備等を行う事業ではない。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	実際の利率が積算上の利率より低く推移したため減額補正した。		
	改善の方向性	要望調査で新規要望がなかったことから平成28年度で新規採択を終了した。後年度負担分についても平成29年度で終了した。		

外部有識者の所見

対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

計画通り事業の終了は適当である。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

計画通り終了する。

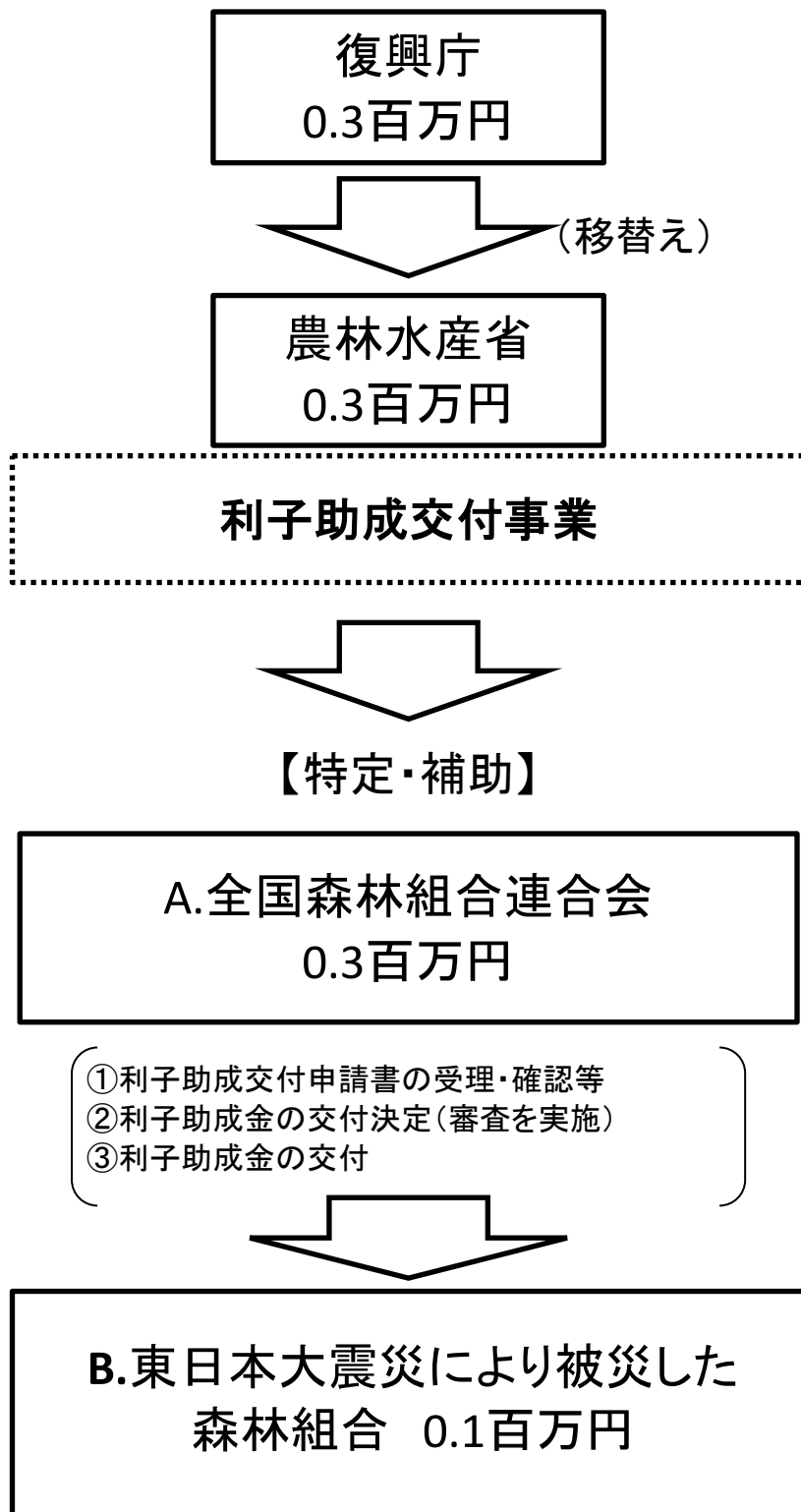
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	0132	平成25年度	0112
平成26年度	0132	平成27年度	0132	平成28年度	0138		
平成29年度	復興庁 (0111)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.全国森林組合連合会			B.釜石地方森林組合			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	利子助成費	被災森林組合における森林組合再建に係る借入金の利子助成	0.1	利子助成費	被災森林組合における森林組合再建に係る借入金の利子助成	0.1	
	技術者給	事業実施主体が支払う実態に応じた対価	0.1				
	事務運営費	事業実行に当たり必要となる事務運営の経費	0.1				
	計		0.3	計		0.1	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全国森林組合連合会	1010005003995	利子助成交付申請書の受理・確認、利子助成金の交付決定(審査を実施)及び利子助成金の交付	0.3	随意契約 (その他)	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	釜石地方森林組合	7400005004494	利子助成費	0.1	その他	-	--	
2	奥州地方森林組合	4400605000714	利子助成費	0	その他	-	--	